

科目名	卒業演習 「保育者の社会的役割と保育者となる “私”の在り様を考えるⅡ」		担当教員	伊 藤 恵里子		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	後期
講義概要 ■到達目標 ・「労働」に関わる諸問題について、その様相をとらえ、自分なりの意見をもてる。 ・フィールドワークを通し、自身の設定した課題について検討し、卒業レポートに書き表すことができる。 ・保育者となる“私”の在り様—保育者として子どもに何を願うのか、子どもとどう向き合いたいのかについて思考を検討できる。 ■授業の概要 本授業は、保育者が社会的にどのような役割をもち、何が求められているのか、そして保育者となる“私”は子どもに何を願い、どう向き合うのかについて考えることをねらいとしている。そのために、私たちが生きているこの社会—とりわけ「労働」に関わる諸問題について、文献や新聞等を用い、受講生同士で話し合いながらその様相をとらえることから始める。そして、保育者がその周りの社会とどのように関わっているのかを考えたい。 授業方法は、文献講読会や討論会を多く取り入れ、必要に応じてフィールドワークを行う。 ■授業計画 第1回 オリエンテーション、追求する課題の確認 第2回 「労働」をとらえる①（保育者の労働環境） 第3回 「労働」をとらえる②（労働に関する制度） 第4回 「労働」をとらえる③（職場のメンタルヘルス） 第5回 保育者と周りの社会①（子どもとの関係） 第6回 保育者の周りの社会②（保護者との関係） 第7回 保育者の周りの社会③（同僚との関係） 第8回 保育者の周りの社会④（地域との関係） 第9回 卒業レポートの課題設定 第10回 フィールドワーク① 第11回 フィールドワーク② 第12回 卒業レポート① 第13回 卒業レポート② 第14回 まとめ（保育者となる“私”の在り様） 第15回 学びの成果発表会 ■準備学習 ・次回の授業で取り扱うと指定された文献を読み、自身の考えを持って授業に臨むこと。 ・提示した課題に取り組み、期限内に提出すること。 ■評価方法 ・授業時間内に行われる文献講読会、討論会における積極性や発言内容 — 30% ・提示した課題の提出状況及び内容 — 30% ・卒業レポート — 40%						
参考文献	授業中に適宜示す。		特記事項	フィールドワークにかかる費用は自己負担となる。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼			
			保			